

Special
Olympics
Nippon
Niigata



きぼう

2022年5月 No.36

発行：認定NPO法人
スペシャルオリンピックス日本・新潟
事務局：950-2044
新潟市西区坂井砂山4丁目22-19
TEL:025-378-0171
FAX:025-378-0172
E-mail:niigata@son.or.jp
公式HP:https://son-niigata.com/



こちら
から
HPへ

スペシャルオリンピックス（SO）とは・・・

知的障害のある人たちに、日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。
スペシャルオリンピックスでは活動に参加する知的障害のある人を「アスリート」と呼んでいます。

「きぼう」第36号発刊にあたって

理事長 高井 盛雄

皆さんこんにちは

日頃よりSON・新潟の活動にご支援ご協力をいただいている多くの皆様に深く感謝申し上げます。

新型コロナ感染者数は依然として高止まりの様相（5月10日現在）ですが、ワクチン接種の進展や重症者数の減少などにより様々な行事やイベントが、「3年ぶりに」という枕詞とともに再開あるいは再開予定との報道をこのごろよく聞くようになってきています。

SON・新潟も、新潟県のまん延防止等重点措置の終了を受けて、3月中旬以降それぞれのプログラムで順次再開していただいているところです。

これから初夏に向かいます。活動しやすい季節となり、アスリートや関係の皆さんも前向きな気持ちでいっぱいだと思います。マニュアル等によるコロナ対策はもとよりけがや事故にも十分注意しながら、体を動かしてリフレッシュするとともに、多くの皆さんとともにスポーツできる喜びを感じ、それぞれの体力や技術の向上にがんばりましょう。

悲しいお知らせがあります。

SON・新潟の活動に設立当初からご尽力をいただいていた木村裕様が去る4月7日にお亡くなりになりました。木村様は昨年末まで、評議員、理事、参与として長きに渡りご指導いただくとともに、チャリティゴルフ大会の開催や、協賛企業の紹介、事務所の貸与などで多大なるご貢献をいただきました。

謹んで哀悼の意を表するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

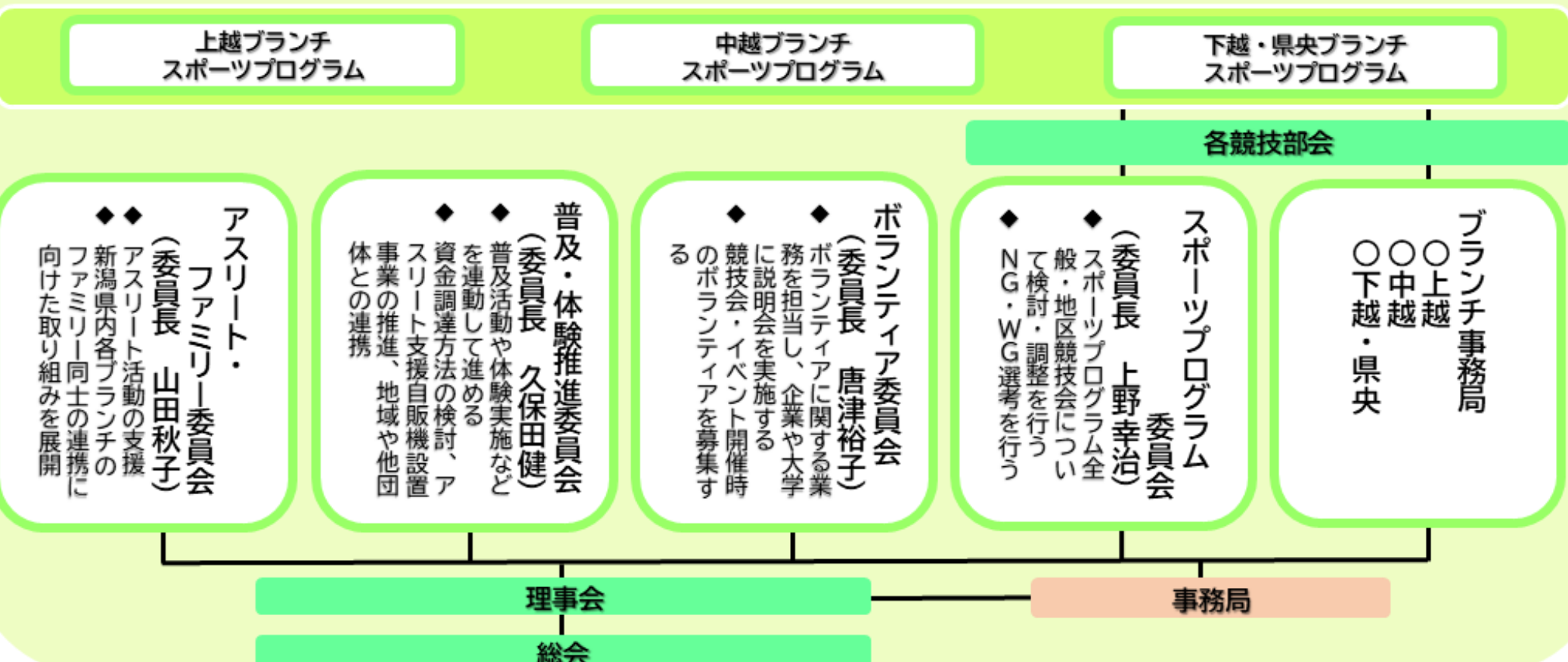
（総会当日の様子）

2022年度通常総会 開催報告

3月21日（祝・月）に、2022年度の通常総会を、ふれ愛プラザ（新潟市江南区）で、オンライン出席も併用したハイブリッド形式により開催しました。当日は、2021年度事業報告及び収支決算、2022年度事業計画、予算、役員の選任について議論され、全ての議案が可決承認されました。



2022年度 SON・新潟組織図



アスリートキャプテンから一言いただきました！

今号より3回に渡り、SON・新潟の各プログラムのアスリートキャプテンのコメントを掲載します!!

今号に掲載されていないアスリートキャプテンには、次号以降に依頼をさせていただきますので、よろしくお願いいたします!!

新潟市ダンスプログラム

ダンスチーム H&D 唐津 克章

【プログラムで頑張りたいこと】

プログラムが終わると動画が送られてきます。家で練習します。正しくカッコよく踊れるように頑張ります。



(写真中央：唐津さん)

新潟市第五卓球プログラム

横山 星華

【プログラムの良いところ】

アスリート5人、コーチやみんな卓球の練習と、3月からフットワーク練習も増えて楽しく運動しています。

新潟市陸上競技プログラム

水野 城守

【プログラムの良いところ】

陸上のよいところは、みんなが、いつでも整列し、それぞれのペースで練習をしっかりとできる事です。



小千谷市よさこいプログラム

金子 直道

【プログラムで頑張りたいこと】

新曲を早く覚えたいです。今、みんなで一生懸命練習しています。チームの友達が考えた、早い動きの振り付けです。



三条市バスケットボール

プログラム 斎藤 亜知

【プログラムで頑張りたいこと】

私は、試合中の土壇場でいつでもシュートを決められるようにシュート練習を頑張りたいです。



柏崎市フロアホッケープログラム

米山 孝輔

【プログラムの思い出】

初めて出た大会で1位になったことです。得点を決めることは出来なかったけど、応援を頑張りました。

第2回全県スポーツプログラム代表者会議 開催報告

11月14日（日）に、今回もZoomを利用して行いました。

二部制で開催し、第一部では、（一社）カルティバータ代表理事の宮嶋泰子氏を講師に迎え、「スポーツ現場の取材体験を通じて見たS0の活動の現在地と意義」という演題で講演会を行いました。オリンピックの歴史をたどりながら、スポーツと社会情勢がリンクしているという事などについて、事例を交えてわかりやすくお話ししていただきました。参加者からは「これからは「多様性」と「共生」の社会というお話の内容に共感した」「これからもS0の活動を継続・発展させていきたいと思った」等の感想をいただきました。

第二部は、スポーツプログラム委員会からの説明を中心に会議を行いました。

新旧スポーツプログラム（SP）委員長ご挨拶

新SP委員長

上野 幸治

この度、SP委員長を拝命しました上野幸治と申します。

S0にはバドミントンプログラムの立ち上げ当初から、SP委員は2016冬季新潟大会後から関わらせて頂いております。

少しでも、アスリートの日常にスポーツを楽しめる場が広がり、そしてそれを支えて頂いているボランティアの皆様が活動をやりやすくなるよう、微力ですが努めて参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



前SP委員長

皆木 伸介

長い間SP委員長を務めさせていただき、ありがとうございました。このたび若い委員長、副委員長にバトンタッチすることができました。これからも皆さんと一緒に若い3人を盛り上げ、尽力したいと思います。協力をお願いします！



新潟市ボウリングプログラム
木村 和樹

【プログラムの思い出】

私は、2017年に行われた「名古屋の地区大会」に参加したのが一番の思い出です。仲間と一緒に楽しめました。



柏崎市フィギュアスケートプログラム
栗林 瑠昌

【プログラムで頑張りたいこと】

カッコ良く滑りたいです。宇野昌磨さんの様に滑れるように、みんなと一緒にリンクを滑るのが楽しいです。



新潟市第一卓球プログラム 佐々木 千秋



【プログラムの良いところ】

毎月第二と第四日曜日に黒埼北部公民館でアスリート8名と練習しています。卓球は楽しいです。上手になれるよう頑張ります。

三条市ボウリングプログラム 金安 陸登



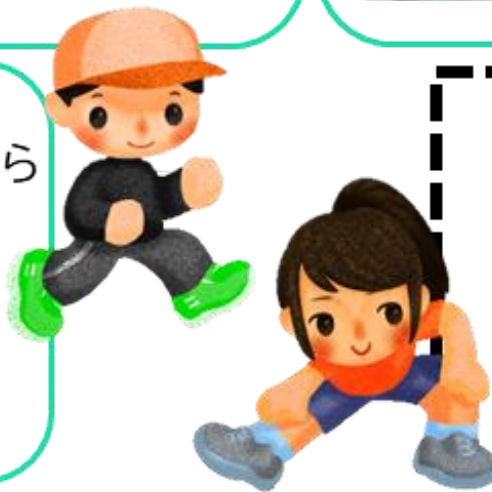
【プログラムで頑張りたいこと】

練習を頑張リストライクを沢山とって、スコアを伸ばしていきたいです。大会にも出てみたいです。

新潟市ボッチ (S0ボッチャ)
プログラム 山田 さくら

【プログラムの良いところ】

プログラムでは、目標球(パリーナ)に近づけるための投げ方を話し合い、皆で楽しく頑張っています。



プログラム名

氏名

【アスリートキャプテンより一言】

①～③の中から題名を選んでもらいました！

①プログラムで頑張りたいこと

②プログラムの思い出

③プログラムの良いところ

シンポジウム「パラスポーツで、つながろう、楽しもう」

普及・体験推進委員会 久保田 健

昨年、東京パラリンピックが開催され、多くの注目を集めました。本来であれば、この大会を契機に障がい者スポーツ（以下、パラスポーツ）が大きく発展することが期待されていましたが、コロナ禍で思うように活動が展開できない日々が続いています。しかし、そんな中だからこそ、東京パラリンピックのレガシーを着実に次の時代に引き継ごうと、SON・新潟と新潟県障害者スポーツ協会の共催で、標記のシンポジウムを開催することになりました。

このシンポジウムは、県内のパラスポーツ関係者・団体が広くつながり、協力してパラスポーツへの理解啓発と一層の普及推進を図ることを目的としています。企画立案は、SON・新潟の普及・体験推進委員のほか、県障害者スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブの関係者で構成した実行委員会が担当し、県内で積極的にパラスポーツに取り組んできた当事者や支援者に登壇していただきます。

パラスポーツの世界には、S0以外にもたくさんの仲間が存在すること、障がいの有無に関係なく、共にスポーツを楽しむ取り組みが広がってきていることを多くの方に知っていただき、これからの個人や社会のパラスポーツへの関わり方を、一緒に考える機会にしたいと考えています。多くの皆様のご参加をおまちしております。

シンポジウム「パラスポーツで、つながろう、楽しもう」

日時 2022年8月27日（土）13:30～15:00

会場・定員 新潟ふれ愛プラザ 会議室・研修室（30人）、オンライン（300人）

主催 新潟県 新潟市 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・新潟 新潟県障害者スポーツ協会

後援（予定） 新潟県スポーツ協会 新潟県特別支援学校体育連盟 新潟医療福祉大学

【登壇者】

永田 務さん（東京パラリンピック マラソン銅メダリスト）

関口 芳平さん（総合型地域スポーツクラブ NPO法人ネージュスポーツクラブ事務局長）

中川 久美さん（新潟県障害者スポーツ協会・障害者スポーツ指導員）

唐津 克章さん（SON・新潟 アスリート）

唐津 裕子さん（SON・新潟 ファミリー）

【コーディネーター】

丸田 徹さん（SON・新潟副理事長、新潟県障害者スポーツ協会副会長）

※申込方法は、6月頃SON・新潟のホームページでご案内いたします。



卓球コーチクリニック(実技) 開催報告

3月27日(日)に、SON・宮城の渡辺広衛スポーツトレーナーを講師に迎え、新潟市黒埼北部公民館にて、約20名が受講しました。コーチクリニックとは、S0日本の認定コーチ資格取得を目的とした研修会です。

ユニクロ様より
スポーツウェアをいただきました！

日頃よりS0にご支援をいただいているユニクロ様より、S0日本へスポーツウェアの提供があり、SON・新潟に全6種類、合計約1600枚のウェアをいただきました。各プログラムよりアスリートの皆様へ配布のご案内をしました。



夏季ナショナルゲーム・広島 開催決定！

S0日本では、「2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島」を11月に開催します。

この大会は、2023年にドイツで行われる世界大会への日本選手団選考を兼ねています。

SON・新潟からは、陸上競技、バドミントン、ボウリング、卓球、競泳の5競技に選手団を派遣する予定です。

4/2(土)に、広島市にて、採火式・トーチランファーストレグ・分火式が行われました。

大会火のランタンは、4月18日(月)にSON・新潟事務局に届きました!!



2022年第8回スペシャルオリンピックス日本

夏季ナショナルゲーム・広島

スローガン:「Power Of Smile～だれもが輝ける場所へ～」

日時: 2022年11月4日(金)～6日(日) 3日間

4日(金) 開会式

5日(土) 競技予選(ディビジョニング)

6日(日) 競技決勝 / 表彰 / 閉会式

開催地: 広島県内各所(広島市、呉市、三原市、北広島町)

実施競技: 12競技

陸上競技/サッカー/テニス/バドミントン/フライングディスク/

バスケットボール/柔道/ボウリング/卓球/競泳/馬術

/自転車(デモンストレーション)

大会公式サイト: <https://sonippon.wixsite.com/so-2022-hiroshima>

ご支援いただきありがとうございます

(2021.11.1～2022.4.30・敬称略・順不同)

【寄附(1万円以上)】 新潟八千代ライオンズクラブ /

【賛助企業・団体】 (株)リケン柏崎事業所 / (株)CHEZ・TI /

事務局
より
お知らせ

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、SON・新潟の事務局は、毎週月曜と木曜の10:00～14:00(都合により、時間変更となる場合もあります)のみ開所しています。開所日以外の日には事務員の在宅ワークを継続しています。連絡はメールやHPの問い合わせフォームよりお願いいたします。郵便物・FAX・留守番電話の対応は遅くなりますが、ご理解とご協力をお願いします。
- 通年スポーツボランティア(コーチ・運営手伝い)、競技会ボランティア、イベントボランティアを募集しています。「出来ることを出来る時に」一緒に楽しみながら活動しませんか？

《賛助金納入のお願い》

S0の活動は、ボランティアと皆様の賛助金・寄附金で支えられています。

賛助金は、個人年間一口 3,000円・企業団体年間一口 10,000円となっています。

納入は、右記口座へお振込み(手数料はご負担願います)をお願いします。寄附金も同じ口座にて受け付けています。

なお、今年度は活動を休止しているプログラムがありますので、スポーツプログラムの参加者は、プログラム再開時に、プログラム毎の集金で納入していただいても構いません。皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

【振込先口座】

ゆうちょ銀行

記号番号: 00580-5-101963

※他金融機関からの振込口座番号

店名: O五九(ゼロゴキウ)店

預金種目: 当座預金 口座番号: 0101963

口座名: NPO法人SON・新潟